

東北 SDGs 未来都市サミット

気候非常事態宣言

近年、我が国を含め全世界で様々な異常気象が観測されており、WMO(世界気象機関)は、一連の異常気象は、温室効果ガスの増加による長期的な地球温暖化傾向と関係していることを示しています。また、IPCC(気候変動に関する政府間パネル)は、温室効果ガスの増加には、私たちの生活や生産活動が大きく関与していることを報告しています。

このような現状に鑑み、私たち、岩手県陸前高田市、宮城県東松島市、秋田県仙北市、山形県飯豊町、福島県郡山市は、近年の異常気象が脅威であることを認識し、東北地方から選定された SDGs 未来都市における持続可能なまちづくりの一環として、相互に連携し、次の活動を含めた対策を講じることをここに宣言します。

1. ごみの排出抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再資源化(リサイクル)、ごみの発生回避(リフューズ)を徹底します。
2. 省エネルギーの推進と併せて、再生可能エネルギーの利用を促進します。
3. 人や社会・環境に配慮した消費行動(エシカル消費)の普及を図ります。
4. 各都市の環境、課題に応じて、地球温暖化防止に資する取組を推進します。

2020年1月16日

岩手県陸前高田市長

戸羽 太

宮城県東松島市長

渥美 巖

秋田県仙北市長

阿部 兴浩

山形県飯豊町長

渡藤 幸平

福島県郡山市長

品川 萬里